

市政を問う

一般質問



存続が求められる「ひぼこホール」

問 「ひぼこホール」は改修費が16億円必要として突然廃止することが示された。出石の人たちは驚愕している。旧出石町民にとっては町の宝であり誇りだ。住民に説明もせずいきなりの決定は受け入れられない。「ひぼこホール」は残すべきだ

答 開館から23年経って

問 毎年点検しており、その都度修繕等してきた。今回初めて全体的な点検を行い、存続するならば全面的なやり替えが必要と分かった。

答 合併以後「ひぼこホール」の修繕にどの程度の予算

問 16億円使用ならきない。16億円使用なら市民生活の別のところに役立てるべきと判断した。

答 合併後、毎年維持管理、舞台装置、照明などの点検を定期的に行った

問 5億円かけて上から落ちてくるものを防ぐ応急処置をしても、エアコンの故障、漏電、雨漏りなどの対応が必要である。

答 新しく建て替えるほどの金額ではないか。23年使ってそうやってしまふのか疑問に思う。再見積もりの必要があるのではないか

答 仮に屋根・壁部分を直しても、電気、空調、舞台、音響、照明設備など全て換えることになる。トータルとしては16億円は16億円だ。小ホールはよく利用されており、この機能をどうするのか議論すべきと思っている。

問 「交付税で自治体の財源不足は賄える」と感じられるが、改めて「普通交付税」の定義について説明を求めます

答 自治体間の財源の不均衡を調整。国内どの自治体でも、一定の行政サービスができるようにする財源保障機能である。国が国税を徴収し、地方に再分配し、地方の固有財源となるものである。

問 28年度の不用額は、8億4千万円余りであり、多く感じる。発生原因は

答 入札に付すもの約1億5千万円、市民の生活のために必要不可欠な扶助費約8千万円、負担金補助および交付金約1億3千万円、除排雪経費



水が来ない八代川排水機場 導入路の整備を！

問 日高の内水問題の早期の調査・対策を

答 日高市街地に続く下流部虹の街、上石、西芝地区の内水問題の今後の対策方針・調査についてはどうか

答 円山川河川整備計画に基づき、引き続き国、県と連携しながら今後の方針、計画を検討していく。



奥村 忠俊 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団)

ひぼこホール廃止は市民の理解得られない



関貫久仁郎 議員
(かがやき)

For 市民 予算組み、執行は適正に

問 「交付税で自治体の財源不足は賄える」と感じられるが、改めて「普通交付税」の定義について説明を求めます

答 自治体間の財源の不均衡を調整。国内どの自治体でも、一定の行政サービスができるようにする財源保障機能である。国が国税を徴収し、地方に再分配し、地方の固有財源となるものである。

問 28年度の不用額は、8億4千万円余りであり、多く感じる。発生原因は

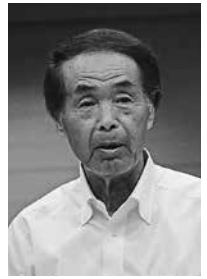
答 入札に付すもの約1億5千万円、市民の生活のために必要不可欠な扶助費約8千万円、負担金補助および交付金約1億3千万円、除排雪経費

問 5億円かけて上から落ちてくるものを防ぐ応急処置をしても、エアコンの故障、漏電、雨漏りなどの対応が必要である。

答 新しく建て替えるほどの金額ではないか。23年使ってそうやってしまふのか疑問に思う。再見積もりの必要があるのではないか

答 仮に屋根・壁部分を直しても、電気、空調、舞台、音響、照明設備など全て換えることになる。トータルとしては16億円は16億円だ。小ホールはよく利用されており、この機能をどうするのか議論すべきと思っている。

市政を問う



野口 逸敏 議員
(とよおか市民クラブ)

A-1の台頭で子どもたちが働く場はどっとなる



地域の子どもたち

パクトは相当大きい。今、子どもたちにも備えをしなくてはならない。

問 ボランティア仲人の応募人数は

答 61人の応募があり、53名を登録した。

問 移住相談件数、および移住者数の実績は

答 本年8月までに77件の移住相談を受け、14組25名の移住実績を得た。

問 間伐作業道の活用を含めた緩衝帯の整備、有害獣の侵入を防ぐ専門家の講演会開催の方針は

答 緩衝帯整備は実施が可能か森林組合と検討を行う。講演会の開催は、機会を多く提供したい。

問 A-1(人工知能)が人間と同等の受け答えができるようになり、30年後には全人類の能力を超越すると言う研究者もある。市基本構想への記載の背景、市民への対応は

答 2030年頃には日本の労働力人口の約49%の仕事は、AIやロボットに置き換わるとの研究結果がある。社会的イン

問 遊休農地の解消、発

答 本年8月までに77件の移住相談を受け、14組25名の移住実績を得た。

問 間伐作業道の活用を含めた緩衝帯の整備、有害獣の侵入を防ぐ専門家の講演会開催の方針は

答 緩衝帯整備は実施が可能か森林組合と検討を行う。講演会の開催は、機会を多く提供したい。

問 北近畿豊岡道の「道駅」整備の可能性は

答 概ね位置が決まり採算性を検討し判断したい。

問 平成16年の台風23号による被害の未整備箇所への対応は

答 現場の状況を見ながら対応を検討する。

問 市指定文化財の管理保全対策は

答 管理は所有者が行い、市は、修理、保守経費の補助、助言を行う。

問 地域の子どもを地域で育てるには学校、地域、保護者の立場での役割について共通認識が不可欠と考えるが

答 地域の持つ教育環境を生かし地域の子どもは地域で育てるという認識を共有し取り組みたい。



西田 真 議員
(ひかり)

障がい児(者)福祉のさらなる充実を

医療的ケア児の通所施設

問 たんの吸引や胃ろう等による栄養注入などが必要な医療的ケア児向けの通所施設づくりが徐々に広がりつつあるが、市の現状と今後の計画はどうか

答 医療的ケアが必要な子ども向けの通所施設はないが、今年度中に策定予定の第5期障害福祉計画、および第1期障害児福祉計画の中で、今後必要とされるサービスの見

外来生物の実態と駆除

問 市内の外来生物の種類数、および個体数の現状はどうか。また、増え続ける外来生物の駆除の現状と今後の対策はどうか

答 県では但馬内の外来生物は、ヌートリア、アライグマ等63種類を把握しているが、それぞれの個体数は把握していない。市内における外来生物の駆除対策は鳥獣保護管理

消防団の装備

問 ヘルメットライトの装備は、夜間作業時に両手が見えるなど必要不可欠である。一部配備しているが団員全員に配備してはどうか。また、大規模災害に対応するため、チェーンソーや油圧ジャッキ等の救助活動用資機

医療的ケア児(者)の環境整備を(NPO法人医療的ケアネットHPから引用)

どんな障害があっても、どこでも、だれでも、安全・安心に地域で快適に生きていくことができる国づくりを!

研修機関申請から施設までに立ちふさがった「壁」をどうクリアしたか、法制化した医療的ケア研修をいかに広げるか。24時間、地域で、医療的ケアが必要な人たちの支障の連続をどうつっくっていくなどの課題を明らかにする。

編集 高木恵司 杉本健郎 NPO法人 医療的ケアネット

問 ヘッドライトの必要性は十分に理解している。今後、ヘッドライトも含め優先的に配備すべきものを見極めて、来年度以降も年次的に団員装備の充実に努めていく。